



☆真·善·美☆

★和歌山県立那賀高等学校★



◎ 令和4年度1ヶ月が経過、5月からの目標は？

「やわらかに生きる」

春 期待に胸をふくらませて
 始まった新しい生活も一か月を
 過ぎると、自分が思い描いてた
 ことと異なり、とまどい落ち込
 むといったいわゆる五月病にな
 る人がいます。そんな人に向け
 る言葉があるとすれば「人生は
 ままならないもの」ということ
 に尽きます。煩惱を捨て去るこ
 とができない我々は覚悟を決め
 るより他にありません。すなわ
 ち悔いて学んだことを糧に自分
 なりの価値観をかけて揺るがな
 いものに確立していく。その結
 果がどうであれ、人のせいにな
 ず自分一人で引き受ける。その
 覚悟があれば一歩ずつ前へ進ん
 でいけます。あなた一人が悔い
 て苦しんでいるのではありませ
 ん。人は皆喜んだり、悲しんだ
 り、時には後悔しながら生きて
 います。皆、煩惱を抱えて生き
 ていることに気づき共感できれ
 ば、また生きる勇氣も湧いてき
 ます。

法然院貫主梶田真章の文章の一節より

- 煩惱(ぼんのう)……

身心を悩まし煩わせる心のはたらきを意味する仏教の用語。迷いや苦しみの原因となる心のけがれをいう。

4月8日（金）には始業式が、11日（月）には入学式が行われ、令和4年度がスタートしました。

昨年度はコロナ禍 2 年目の中、9 月に入って分散登校期間が取られ、伝統的な文化祭や球技大会、遠足などの行事が中止に、体育祭は延期して 10 月に実施することになりました。また、修学旅行、国際研修旅行は次年度に延期、さらに、延期していた国際科 2 年生の研修旅行は紀南方面になるなど様々な場面で大きく影響を受けました。今年度は、コロナ禍の状況を見ながらとはなりますが、可能な限り日々の学習活動や部活動はもとより、学校行事を推し進めていきます。皆さんも自覚を持って取り組んでいきましょう。

さて、今年度4月当初より、対面式、身体測定・健診、各種オリエンテーションなどを経て、5月2日(月)には球技大会を実施することができました。5月の大型連休中には、心身共に休息を取った人や部活動で汗を流した人もいたかと思います。那賀高校での令和4年度がスタートし、1か月が経過しましたが、この1か月間それぞれどう過ごせましたか?自分の思い通りに進んでいますか。思い悩んでいる人はいませんか。この機会に自分なりに振り返りをしてみて、それぞれの目標(学校生活・授業・部活動など)を見つめ直し、次のステップに向かって踏み出していきましょう。以下に、これまでの活動を写真で掲載してみます。



〔クラブ紹介風景〕…クラブ活動にも積極的に参加しよう！

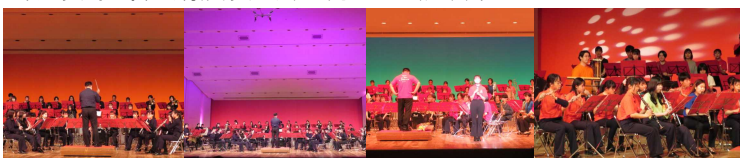


〔球技大会(5月2日(月))〕

〔吹奏楽部定期演奏会(5月3日(火))〕



自ら学び鍛える那高生



地域に貢献する那高生